

雲の上のまち



た報

ゆすばら



新しくなった東町のお茶堂

新年号

2014 <平成26年>
No.667

- 世帯数/1,774 (12月初)
- 人口/3,731 (12月初)

謹んで新年のご祝詞を申し上げます



平成二十六年 元旦

梶原町長 矢野 富夫

昨年中はひとかたならぬご厚誼を賜り厚くお礼申し上げます
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

昨年11月に執行されました町長選挙におきまして、町民の皆様
様の温かいご支援によりまして
無投票で再選を受け町政を担当
させて頂いたことになり、その
責任の重さをひしひしと感じ
ているところであります。

ご承知のとおり浅学非才であ
りますが、皆さんと一緒に考え
行動し、梶原町がめざす六つの
社会の実現に向けて全身全霊を
注いでまいりますので、今後と
もご指導ご支援をお願い申し上
げます。

今、梶原町を取り巻く環境は
大きく変化をしています。昨年
は第二次安倍内閣が発足し、
昨年は参議院議員選挙で自民党
が圧勝し、衆議院と参議院のね
じれ状態が解消されました。
また、東日本大震災をはじめ
全国各地で発生している集中豪
雨、竜巻など、地球温暖化が進
む中で、何が起るかわからな
い環境になりつつあります。

さらに、国、地方合わせた借
金は1000兆円を超え過去最
大を更新するなど、特に地方の
財政運営は厳しさを増す状況で
あります。

本年4月から消費税率が5%
から8%に引き上げられます。
また、TPP交渉、特定秘密保
護法の監視体制、原発・エネル
ギー問題など、この国の形を決
める大きな時を迎えておりま
す。

そうした中で、本町におきま
しては、町民の皆さんと心を一
つにした取り組みが着々と成果
を上げてまいりました。

その一つ命の道の整備は、国
道197号では最大の難所区間高野
から神在居の約2kmの工事に着
手いたしました。長年の懸案で
ありました町中心地から松原中
心地にいたる国道県道の途中を
800mの町道佐渡鷹取線として改
良する調査が始まりました。完
成すれば所要時間が約40分から

約20分に大きく短縮されます。

その他、西区、四万川区、越
知面区等幹線道路や庭先から車
に乗れる「ふれあい道路」まで
基盤整備が整ってまいりました。

命の水の確保は、要望の99%
が完成となりました。このため
次につなげトイレの改修等合併
浄化槽設置費用に対して自己負
担10万円とする制度を立ち上
げ、さらに、南海トラフ地震等
に対する住宅の調査、設計、改
修、町独自住宅裏のがけ崩れ対
策に対して90%の補助体制をつ
くり住環境の整備と不安の解消
に努めてまいりました。

また、教育文化面では、「保幼
小中高」の一貫教育をスタート
させ、地域ぐるみで梶原人を育
てる「梶原町一貫教育センター」
を立ち上げ、イギリスへの留学
や勝つ野球やアーチェリーを学
び始めるなど大きく子どもたち
が躍動を始めました。

さらに、松原区、初瀬区、四

万川区で支え合いの集落活動セ
ンターを立ち上げてまいりまし
たが、目的達成までには道半ば
であります。

このため私は、二期目のス
タートにあたり、「全ての地域
資源を活かす」「共生と循環の
考え方」そして「物事を進める
仕組みをつくる」ことを基本に、
目的に向かつて階段を一步一歩
上がってまいりたいと考えてお
ります。

そのために、梶原ならではの
保健医療福祉介護の充実した予
防型社会に向けて、梶原町社会
福祉協議会の法人化を4月から
スタートさせ、総合相談窓口の
機能を備えていきます。

そして、在宅を基本にいつで
も気軽に入所退所できる福祉施
設の整備に取り組んでまいりま
す。

また、「保幼小中高一貫教育」
の充実と町民の皆さんが知識の
共有を図る生涯学習の拠点「森
の中の図書館」づくりを目指し
ます。

さらに、「雇用と外貨を稼ぐた
めに森林セラピー基地」「太郎川
公園の再生」とセラピーロード
を連携した「ゆすはら丸ごとク
リニック」の推進や、環境モデ
ル都市の推進、ゴミを出さない
人材育成と自然エネルギー自給
率100%を目指します。

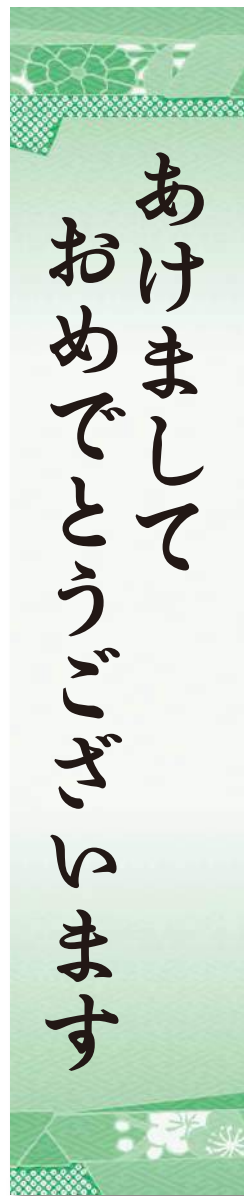
そして、六区の振興発展と
集落活動センターの充実支援
及び移住、定住対策を図り、
農畜林商工観業の振興と産業
を担う、役場を担う、梶原を
担う人材育成に積極的に取り
組んでまいります。

こうした次につながる考え
方ができますのも、高橋議長
を始め議員の皆様、各種団体、
各区長を始め町民の皆様、さ
らに、国、県、大学及び企業
のご指導ご支援によるもので
あり、あらためまして皆様方
に衷心より敬意と深く感謝を
申し上げます。

これまでいただきました
数々のご要望やご提言をしつ
かりと受け止め、町民の皆様
方の不安の解消と経済の活力
に向けて本年も全力で取り組
んでまいりますので、この上
とものご叱声とご協力をお願
い申し上げますとともに、皆
様のご健康とご多幸を心から
お祈り申し上げます、新年
のご挨拶といたします。

梶原町役場

- 町長 矢野 富夫
- 副町長 吉田 尚人
- 外職員 一同
- 監査委員 山口 敏
- 長山 和幸



あけましておめでとうございませす

皆様におかれましては輝かしい新年を迎え
健やかにお過ごしのことと心からお喜び申し上げます

平成二十六年 元旦

榑原町議会議長 高橋 基文

年頭に当たり、町議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃から議会活動に対するあたたかいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は榑原誕生一一〇年を迎える記念すべき年であり、さまざまな機会を通じて榑原町を発信することの多い年でありました。

このことは、歴史という過去の事象や思想をじっくり振り返り、現在の状況をしっかりと見極め、判断していき、そこから新しい知識や見解を見出し、いける。つまり、私たち8人の議員が、その役割と責任の重さを自覚し、町政をとりまく環境の

変化を的確に捉えながら、議員活動にまい進できる機会になった年であったと思っております。

そうした中で、私が、議長に就任させていただき、私なりにより身近な議会、機能する議会の実現を念頭に置き、議会運営に努めてまいりました。

8月には、風力発電事業調査特別委員会を設置し、町が掲げる将来のエネルギービジョン計画をしっかりと見極め、是々非々の立場で、町民が納得する最良の結果を出すことを目的として議論を交し、調査を行っているところでありました。また、懸案となつている松原地区の道路整備についても、早期開通をめざした取り組みが進められている

ところであります。さらに、基幹産業である農林業の振興、商業の活性化、住環境の整備、若者等の定住、雇用の確保・創出、超少子高齢化対策、教育の推進などなど、本町が抱えている課題は多くあり、町議会として、その解決に向け日々努めております。

「二年の計は元旦にあり」と言われますように、将来を考え、新しい年の計画を立て、新しい希望の出発点となり、決意も新たに、より豊かで魅力ある安心安全で住みやすい榑原町の実現に向け全力を尽くしてまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

結びに、新しいこの一年が皆

様にとりまして、幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますことを心からお祈りし、新年のご挨拶といたします。

榑原町議会

議長 高橋 基文
副議長 西川 慶男

議会運営委員会

委員長 二宮 近雄
副委員長 下元 秀俊
委員 中岡 俊輔
委員 西川 慶男

総務教育厚生常任委員会

委員長 中岡 俊輔
副委員長 土釜 清
委員 二宮 近雄
委員 西川 慶男

産業建設常任委員会

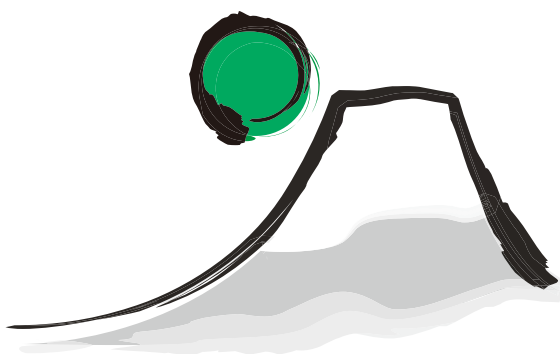
委員長 下元 秀俊
副委員長 長山 和幸
委員 高橋 基文
委員 市川 岩亀

議会広報編集委員会

委員長 土釜 清
副委員長 長山 和幸
委員 下元 秀俊
委員 二宮 近雄
委員 中岡 俊輔
委員 市川 岩亀
委員 西川 慶男

風力発電事業調査特別委員会

委員長 二宮 近雄
副委員長 土釜 清
委員 下元 秀俊
委員 長山 和幸
委員 中岡 俊輔
委員 市川 岩亀
委員 西川 慶男



謹んで新年のお慶びを申し上げます



明けましておめでとうございます

皆様には健やかに新年を迎えられたことと

お慶び申し上げます

平成二十六年 元旦 梶原町教育委員長 岩本直也

旧年中は本町の教育行政にご支援・ご協力賜りまして、厚く感謝を申しあげます。

2年間にわたり、教育委員長として教育行政を牽引いただきました、吉門志茂前委員長に心から感謝を申し上げます。後任に選任されましたが、何分にも未熟でございます。皆様からのご意見、ご指導をいただきながら、勤めさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は藤原経高公が梶原を開いて千百年の節目を迎え、「梶原千百年物語り」として様々なイベントを通して今日の梶原を築いてきた先人に敬意と感謝を表した1年でした。そのような中、梶原学園の小中一貫教育の取り組みも3年目となりました。

学力向上の取り組みとして、

9年間の見通しを持った各教科の学習プログラムの作成、標準学力検査や全国学力・学習状況調査の活用、日々の家庭学習時間や内容について把握できるよう自立ノートの実施、チャレンジャタイム・チャレンジ塾の継続などに取り組みでまいりました。3年間の取り組みで少しずつではありますが、成果が出始めております。

思いやりの心を育てる取り組みとして、道徳教育の充実、人権教育の充実（Q-Uアンケータの実施と活用、人間関係づくり・仲間づくりの取組）、特別支援教育の充実（特別支援員3名を配置）、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用した校内支援体制の充実を図ってきました。

体力の向上の取り組みとして、朝5分間走の実施や体育講

師招聘の継続により体育授業の充実をはかりました。

そして、学校図書館支援員を継続で配置、町読書支援員を配置し、教育の基礎部分の充実を図り取り組みでまいりました。

英語教育の充実のため、中学生の夏休みの海外研修につきましては、例年参加しているオーストラリア研修に加えまして、昨年度より町単独事業でイギリス（ブリストルのクリフトン・カレッジのインターナショナルサマースクールに参加）研修を

始め生徒の英語力の向上に努めてまいりました。また、外国語指導助手を保幼小中学校へ配置し取り組みでまいりましたが、昨年に比べてあいさつができるなどコミュニケーション力が身に付くなど成果があらわれております。

幼児教育に関しては、就学前

教育の重要性にとづいた「梶原型幼児教育システム」に取り組み、1歳児の職員配置基準を3人に1人配置し、親子の愛着心や自尊感情の育ちを大切に取組んでまいりました。

保幼小中と連携した教育を推進するため、昨年5月で退任されました西村正文氏の後任として、9月から幼児教育アドバイザーとして日向國雄氏をお迎えし、これまでの経験も活かしながら梶原型の幼児教育にご尽力いただいております。こども園の子どもたちの実態、課題等の情報の共有化を図っており、相互に保育を見合うことなどを通して、お互いの情報交換の場や機会をもち、人間力の育成に向けて取り組み、小学校就学へとつなげる「学びの連続性」を確保していくよう取り組んでおります。

今年度より、教育委員会内に一貫教育支援センターを新設し、小中一貫教育の推進、幼児教育の推進、社会教育の推進に取り組んでまいりました。

また梶原高校には中高連携のもと、教員が互いに授業交流をしたり、高校生と幼稚園児が一緒に農業体験を行ったり、保育実習を行ったり、地域に根ざ

した取り組みを行っております。生涯学習におきましては、生涯を通して豊かな人生をおくるための学習、心身ともの健康をめざしたスポーツの推進、芸術・文化振興等の支援、各種社会教育団体への支援を行っております。

地域ぐるみの取り組みである学校応援団の活動では、放課後こども教室や朝の見守り、また学校周辺の環境整備など様々な活動において、地域の皆様のご協力をいただいておりますことに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。今後更に多くの地域の方々に学校に関心をいただき、地域の子どもたちを地域全体で育てていくことを目指して取り組んでまいりますので、ご協力を賜りますようお願いいたします。

本年が、皆様にとりまして幸多き年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

梶原町教育委員会

教育委員長 岩本直也
委員長職務代理 吉門志茂
教育委員 掛橋水
教育委員 玉川富美恵
教育委員 久保栄八

新春のお喜びを申し上げます



輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます
本年もよろしくお願ひ申し上げます

平成二十六年 元旦

高幡消防組合 梶原消防団 団長 長谷部 悟

昨年も国内外で大きな自然災害が発生し、多くの尊い命が犠牲となりました。

中でも、昨年夏フィリピンに上陸した台風30号は死者行方不明者7200人という甚大な被害を受け、復興再建には10年はかかると言われております。

また日本では、伊豆大島の台風26号による大規模な土石流が発生し死者・行方不明者50人超という大変な災害となりました。犠牲となられた方々に対しまして心よりご冥福をお祈り申し上げます。

本町に於いては、台風や集中豪雨による大きな災害は幸いにもありませんでしたが、4件の火災が夏場に集中して発生しております。いずれも早期発見により大火に至らず団出動も2件のみと、被害を最小限に食い止める事ができました。

しかしながら、偶発的な火災事例も発生しており、六丁においての山林火災は落雷により枯れた松が燃えるなど、今後予測のつかない火災が発生するのではないかと危惧しております。

昨年の消防団及び女性消防団、幼少年消防クラブの活動としましては、2月2日に大越グランドにおいて出初式を盛大に開催しました。

3月には、梶原消防団と愛媛県久万高原町消防団との合同訓練を実施し、隣接する愛媛県の消防団員と互いに協力して山火事を想定した消火訓練を実施しました。また永野地区の国道を利用したドクターヘリ離着陸・搬送訓練を併せて実施し、緊急時における対応として大いに活用できることが確認できました。

4月には高知県消防大会が県民体育館で開催され、消防庁長

官「永年勤続功労章」1名、高知県知事表彰「高知県知事内助功労感謝状」を2名が受賞され、た事は誠に喜ばしいことであります。

7月1日には、恒例の梶原消防団・女性消防隊連合演習を開催し、日頃の訓練成果を遺憾なく発揮しました。

8月18日には高陵消防連合演習が中土佐町で開催され、教練の部で第2分団が優勝、小型ポンプ操法の部で第5分団が優勝しました。この結果10月13日には、高知県消防操法大会が開催され、先の大会において小型ポンプ操法の部で優勝した第5分団が高陵地区代表として出場し、県下18チームと競い合い本大会2度目となる優勝を手にしたことは、梶原消防団にとって誇りです。

11月2日に、梶原生誕千百年

物語の一環として、梶原消防団員による農村歌舞伎をゆすはら座において上演しました。町内外から沢山の方にご観覧いただき感謝申し上げます。

11月9日に、消防団員と女性消防隊員が町内全域の防火広報を実施しました。

11月25日に、消防団120年・自治体消防65周年記念大会が財団法人日本消防協会、日本防火・防災協会の主催により東京ドームで全国の消防関係者3万7千人の参加のもと盛大に開催され、梶原学園少年消防クラブは、これまでの少年消防クラブの活動が認められ、日本消防協会より大会への招待を受け、式典会場で放水演技を披露し多くの来場者から拍手をいただいた事、子ども達にとりましてはこれ以上ない経験となったものと思っております。

消防団の装備充実につきましては、第5分団2部（上本村）の小型ポンプ付積載車が更新され、仲洞と川西路の2カ所に防火水槽を新設し、より迅速な消火活動が可能となりました。

本年も団員一同、町民の皆様のご生命及び財産を守り、今までの訓練を活かし、安全で安心して暮らせる町づくりのために努

めてまいりますので、なご一層のご支援ご指導をいただきますようお願い申し上げます。この1年が無火災と無災害でありますことをご祈念申し上げます。まして年頭のご挨拶といたします。

梶原消防団

- 団長 長谷部 悟
- 副団長 森田 耕一
- 副団長 玉川 義照
- 第一分団長 中越 義明
- 第二分団長 神明 文男
- 第三分団長 大崎 洋吉
- 第四分団長 村田 澄夫
- 第五分団長 川上 博史
- 消防主任 川上 徳正

梶原町女性消防隊

- 隊長 山口 眞知子
- 副隊長 廣瀬 吾紀子
- 副隊長 大崎 和江
- 副隊長 川上 まゆみ



新春のおよろこびを申し上げます



皆様にとりまして幸多き年でありますよう
お祈り申し上げます
本年もよろしくお願い申し上げます
平成二十六年 元旦

榊原町森林組合代表理事組合長 中 越 利 茂

昨年の政治・経済面では、7月に行われた参議院選挙により自民・公明党の安定政権が続く中で、アベノミクスと呼ばれる経済対策により、大企業、大都市では経済の回復により好景気が報道されています。一方、地方では景気は持ち直しつつあるものの、TPP交渉の行方や人口の大都市圏への一局集中が進むなど、都市と地方の格差がより大きくなっています。

榊原町では、12月には、矢野富夫町政の二期目のスタートとなりました。矢野町長には明るい・住みやすい・働きやすいまちづくりのため、持続可能な産業である農林業のさらなる振興に力を注いでほしいと願っています。

戸数の伸びによって、製品・原木価格は値上がりしたものの、四国地域では、公共土木事業に就労人口が集中し、林業への労務配分が思わしくできない状況となり、原木単価アップを林産事業量拡大に生かし切れていない状況となっております。

昨年3月末の策定予定面積は五、二三四haで、町内民有林面積の約30%となる見込です。また、持続的な森林経営の確立に向けた総合対策事業を導入して、昨年度に引き続き作業路の改修・改良に取り組み、その路線延長は四一、〇〇〇mになる見込みです。

加工事業では、四国島内、関西地域の工務店・設計士事務所との販売ネットワークを活かし、家族単位やバスツアーで33名を迎え、FSC森林内での伐採祈願祭や製材工場の見学会開催などで、安心・安全な榊原産材での住宅建築を希望する施主様の増加で、一定の成果をあげるこ

「こうち大豊製材工場」さらには、高知市、宿毛市では27年春から再生可能エネルギーの固定買い取り価格制度による木質バイオマス発電事業がスタートする予定で、合計最大35万㎡の新たな販売先が確保できる状況となっております。

また、新たな木造建築工法としてCLT工法を採用した中層の集合住宅が欧米では10年ほど前から建築されています。CLT(クロス・ラミネーティッド・ティンバー)とは、厚さ30mm程度の板を横張りした板を上下の層で交差(クロス)するように方向を変え、奇数層を積層した大判パネル(欧州では最大3m×16m)で、構造材と壁・床材として使用する工法です。この建築工法を高知県では産業振興計画に編入し、木材の新たな利用方法を普及・促進して林業の振興を図るとしています。

こうした川下部門の進展に対応するため、森林経営計画を樹立・実行していく中で、高知県、榊原町の指導を得て、林建協働提携事業体や林業事業体、自伐林家との連携を強化して、作業道の開設・利用間伐を推進してまいります。

また、林業後継者育成及び森

最後に皆様のご健康とご多幸をお祈りして新年のご挨拶といたします。

榊原町森林組合

- 組合長理事 中 越 利 茂
- 理 事 下 村 繁 男
- 〃 山 口 敏
- 〃 吉 村 満 寿 夫
- 〃 竹 倉 茂 一
- 〃 氏 原 正 光
- 代表監事 山 本 浩 辰
- 監 事 中 平 俊 一
- 〃 片 岡 幸 作
- 参 事 中 越 薫
- 外職員、従業員一同

明けましておめでとうございませす



本年が皆様にとりまして輝かしい一年でありますようお祈り申し上げます

平成二十六年 元旦 梶原町商工会会長 新谷 章 男

昨年来のアベノミクス効果によつて、我が国の経済は順調な回復基調にあると言われています。この景気回復は、政府の策定した国土強靱化計画をはじめとする公共投資の増加はもとより、経済政策への期待から家計の消費マインドが改善されたことによる民間消費の拡大が大きく寄与しているようです。

一方で、好調な大企業と比較すると中小企業・小規模事業者を取り巻く環境は依然として厳しい現状が続いています。総務省経済センサス基礎調査によりますと、全国の中小企業・小規模事業者数は、事業者数全体の約99%を占めていますが、2012年における全国の事業所数は2009年と比較しても6.4%減少しています。

生活基盤はもとより、我が国の産業経済政策全般に関わることであり、今や全国的にも深刻な問題となっております。

このような中で、今後地域住民や商工業者のみなさんによりよい商工会活動を展開していただくために、県下25商工会が連携を強化し、県内の事業者の皆様との抱える様々な経営課題等の解決を目指す体制の構築が検討されています。これは、従来の市町村毎の商工会組織の体系を見直し、県内をいくつかのブロックに分割して、より広い視点から柔軟で適切な職員の配置や人材育成を行い、事業者の皆さんの利便性を高めるといふものです。平成27年度より実施すべく高知県商工会連合会及び県下商工会が一丸となって取り組んでおりますので、ご理解をいただき、今後一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

無投票による再選は、歴代の町長より連綿と受け継がれてきた施政方針とさらなる新しい風、すなわち道路整備や水道といったインフラ事業をはじめ、福祉・教育文化等に関する数多くの事業を継承し、着実に実行された手腕が町民のみなさんに評価された結果だと思われます。これからの町内の活性化に大いにリーダーシップを発揮され、さらに住民一人ひとりの生活を豊かなものにしていただけるよう、今後一層のご活躍と今後益々のご支援をお願いするところであります。

商工会の継続事業のひとつである観光交流人口の増大にむけては、これまでも町内の皆様のご協力をいただき事業をすすめて参りましたが、昨年より、『高幡広域観光推進事業』として、梶原町、津野町、須崎市、中土佐町、四万十町の行政や観光協会などと連携して、お互いの魅力あふれる観光資源を再確認し、相乗効果を生み出すべく新

たな活動を行っております。今まで取り組んで参りました、環境に配慮した自然エネルギーを活用する実践の視察や、県外客の誘致に加えて、これまでとは違った視点や手法による交流人口の増加に繋がるものと確信しています。

また、梶原町商工会振興協同組合では、『雲の上のホテル温泉・プール』『ライダースイン雲の上』について、昨年4月から新たに5年間の継続指定管理契約を締結しました。経営にあたっては、利用者の声に耳を傾けることはもとより、雇用や材料の調達に関しても、町内の人材、資源を有効に活用すべく精進する所存でございます。『まちの駅ゆすはら』につきましても、活気溢れる売り場づくりを目指しています。四季折々の農産物や魅力的な加工品を多くの方に出荷していただき、梶原らしく元気ある賑やかな空間を創造していきたいと意気込んでおります。

梶原町商工会

会長 新谷 章 男

副会長 西川 陽 子

理事 長山 和 幸

理事 影浦 和 幸

理事 中村 俊 夫

理事 アウンテンボーガルド千賀子

理事 下元 正 八

理事 川村 善 雄

理事 中山 博 行

理事 安井 謙 二

理事 木下 武

理事 森田 悟

理事 西岡 利 晃

理事 千光寺 俊 和

理事 戸梶 一 美

理事 中山 一 郎

理事 山本 浩 辰

理事 外 職 員 一 同

監事

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃



あけまして
おめでと〜ごいませす

各種団体・機関等

梶原町区長会

会長(西区) 中越 一長

副会長(東区) 西川 豊正

区長(越知面区) 川上 光章

〃(四万川区) 空岡 則明

〃(初瀬区) 矢野 敬明

〃(松原区) 久岡 立志

梶原町農業委員会

会長 村田 澄夫

会長職務代理 下元 秀俊

委員 沖田 孝幸

〃 中岡 延幸

〃 中平 紀善

〃 岡林 勝

〃 高橋 正知

〃 前田佐代子

梶原町民生委員・児童委員協議会

会長 西村 正義

副会長 高橋 勝也

委員 竹倉 政恵

〃 中越 泰子

〃 渡辺 瑞枝

〃 氏原 迪

〃 稲垣眞紀子

梶原町選挙管理委員

委員長 坂本 重男

委員長職務代理 西村 茂則

委員 西村 朗

〃 青木 光夫

高幡消防組合津野山分署

分署長 下元 啓自

副分署長 岡崎 好友

〃 岡崎 敏夫

〃 外消防職員一同

梶原町交通安全町民会議

会長 矢野 富夫

副会長 高橋 基文

〃 長谷部 悟

〃 山中 照亞

〃 川上 壽雄

〃 沖田 純輔

〃 西森 峰雄

〃 西森 建基

〃 下元 保市

〃 上川 渉

〃 中越 靖

〃 河野 純雄

主任児童委員

〃 山本 幸代

〃 森野 晃代

〃 久岡 健市

〃 吉村津貴子

〃 松本 亮恵

〃 中岡 勝寿

〃 川上 芳郎

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

交通安全指導員

〃 戸梶 隆光

〃 中越 浩一

〃 坂本 重男

〃 青木 善昭

〃 土谷 善昭

〃 青木 光夫

〃 中山 昭子

〃 松山 虎光

〃 岡本 博吉

〃 氏原 達子

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

〃 理事

梶原町保護司会

会長 志手 功

委員 高橋 勝也

〃 市川 吉朗

〃 松山 栄喜

〃 片岡 幸作

〃 氏原 昇佐

〃 永尾 達子

〃 高橋 栄子

〃 永橋 信弘

〃 熊谷 三郎

〃 西村 寿数

〃 中平 宏

〃 矢野 法

〃 田辺 良一

〃 高橋 正知

〃 高橋 正知

〃 高橋 正知

〃 高橋 正知

〃 高橋 正知

〃 高橋 正知

〃 高橋 正知

〃 高橋 正知

行政相談員

〃 志手 功

〃 永橋 信弘

〃 下元 一利

〃 中越 秀子

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

〃 志手 功

戦没者遺族会

会長 氏原 義章

副会長 下元 保市

〃 明神 治子

〃 西岡 一雄

〃 川上 寿久

〃 二宮 吉永

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

〃 中越文太郎

理事 前田 長壽

梼原町文化財審議会 会長 山口 正郎

副委員長 西村 俊二

梼原町連合青年団 団長 二神 貴登

高知県高幡食品衛生協会梼原分会 分会長 新谷 章男

監事 岡林 勝

副会長 氏原 達子

委員長 熊岡 健

副団長 下元 慶太

梼原町健康文化の里づくり推進員 会長 戸梶 庄美

若宮 康秀

委員 久岡 亀一

沖田 裕次

事務局長 森山 知栄

よつば会 会長 戸梶 庄美

中越 大善

下村 和正

川田 篤史

朝比奈青里花

梼原町文化協会 会長 中越 澄子

梼原町広報委員会

委員長 中越 睦子

副委員長 中越 薫

梼原町体育会 会長 坂本 重男

梼原町文化協会 副会長 久岡 智子

梼原町エプロン会 (食生活改善推進協議会) 会長 中越 雅子

委員 石川 真帆

副会長 西村 玉子

梼原町青少年健全育成町民会議 会長 志手 功

梼原町青少年育成センター 副会長 久保 栄八

梼原町シルバー介護士会 会長 崎村 東洋

委員 中平 俊一

宮地 里佳

梼原町老人クラブ連合会 会長 森山 定幸

津野山畜産公社 会長 永尾健一郎

梼原町精神障害者家族会 会長 長山久美子

吉田 尚人

大川真一郎

梼原町青少年育成センター 所長 川田 忠久

梼原ゲートボール連合会 会長 田邊 盛幸

梼原町シルバー家族会 代表 掛橋 培子

西村 幸美

掛橋 四郎

梼原町婦人会 会長 中山 昭子

株式会社雲の上 代表取締役社長 矢野 富夫

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

市川 岩亀

矢野 富夫

梼原町婦人会 副会長 広瀬 妙子

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

長山 和幸

掛橋 四郎

梼原町婦人会 副会長 中山 昭子

株式会社雲の上 代表取締役社長 矢野 富夫

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

久岡 智子

掛橋 四郎

梼原町婦人会 副会長 中山 昭子

株式会社雲の上 代表取締役社長 矢野 富夫

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

中越 一長

掛橋 四郎

梼原町婦人会 副会長 中山 昭子

株式会社雲の上 代表取締役社長 矢野 富夫

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

新谷 章男

掛橋 四郎

梼原町婦人会 副会長 中山 昭子

株式会社雲の上 代表取締役社長 矢野 富夫

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

森山 定幸

掛橋 四郎

梼原町婦人会 副会長 中山 昭子

株式会社雲の上 代表取締役社長 矢野 富夫

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

堅田 謙洋

掛橋 四郎

梼原町婦人会 副会長 中山 昭子

株式会社雲の上 代表取締役社長 矢野 富夫

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

志手 功

掛橋 四郎

梼原町婦人会 副会長 中山 昭子

株式会社雲の上 代表取締役社長 矢野 富夫

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

川上 政志

掛橋 四郎

梼原町婦人会 副会長 中山 昭子

株式会社雲の上 代表取締役社長 矢野 富夫

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

坂本 重男

掛橋 四郎

梼原町婦人会 副会長 中山 昭子

株式会社雲の上 代表取締役社長 矢野 富夫

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

中越 裕也

掛橋 四郎

梼原町婦人会 副会長 中山 昭子

株式会社雲の上 代表取締役社長 矢野 富夫

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

中山 昭子

掛橋 四郎

梼原町婦人会 副会長 中山 昭子

株式会社雲の上 代表取締役社長 矢野 富夫

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

二宮 健志

掛橋 四郎

梼原町婦人会 副会長 中山 昭子

株式会社雲の上 代表取締役社長 矢野 富夫

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

川上 徳正

掛橋 四郎

梼原町婦人会 副会長 中山 昭子

株式会社雲の上 代表取締役社長 矢野 富夫

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

事務局長 川上 久八

掛橋 四郎

梼原町婦人会 副会長 中山 昭子

株式会社雲の上 代表取締役社長 矢野 富夫

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

顧問 中越 武義

掛橋 四郎

梼原町婦人会 副会長 中山 昭子

株式会社雲の上 代表取締役社長 矢野 富夫

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

梼原町スポーツ推進委員 委員長 氏原 昇佐

掛橋 四郎

梼原町婦人会 副会長 中山 昭子

株式会社雲の上 代表取締役社長 矢野 富夫

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

掛橋 初子

掛橋 四郎

梼原町婦人会 副会長 中山 昭子

株式会社雲の上 代表取締役社長 矢野 富夫

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

掛橋 初子

掛橋 四郎

梼原町婦人会 副会長 中山 昭子

株式会社雲の上 代表取締役社長 矢野 富夫

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

掛橋 初子

掛橋 四郎

梼原町婦人会 副会長 中山 昭子

株式会社雲の上 代表取締役社長 矢野 富夫

NPO法人 梼原竹ぼうぎの会 理事長 長山久美子

地域おもてなしの場 東町茶堂 全面改修



町組による茶堂の解体作業

地域おもてなしの場である「東町茶堂」が、10月下旬～11月下旬の工期で、全面改修しました。当お茶堂は老朽化が進んでおり、その改修を求める声を受け、梶原町組が主体となり今回の改修に至りました。改修にあたっては町組有志が解体作業にあたり、西川建築により本体を改修し、その後茅葺き職人・川上義範さんが屋根を葺替えました。

梶原町内に残るお茶堂は13カ所で、旅人を温かく迎える「まろうど信仰」を伝える存在です。中でも、東町のお茶堂は「化粧坂のお茶堂」として知られ、お接待の場のみならず、観光ボランティア団体「坂本龍馬脱藩の郷梶原であいの会」による龍馬脱藩の道・まち歩きガイドのコースに組み込まれているなど、地域住民の活動の舞台ともなっています。今後、さらに「地域おもてなしの場」として新しいお茶堂の活用が期待されます。

20歳になったら 国民年金

20歳を迎えると、様々な権利とともに義務も生まれます。国民年金に加入することもそのひとつです。

国民年金は、日本に住んでいる20歳から60歳までの方が加入することになっており、学生であっても20歳以上であれば加入して保険料を納めることになります。

納付することにより、老後の所得保障だけでなく、障害や死亡といった不慮の事故などにより私たちの生活の安定が損なわれることのないよう、みんなで前もって保険料を出し合いお互いを支え合う制度です。

また、少子高齢化が進行し現役世代の負担が年々増加していますが、基礎年金の半分は国庫負担で賄われているため、現在20歳の方も納付した保険料以上の年金が受け取れます。

さらに賃金や物価の変動に合わせて年金額が改定されますので、大変有利です。

ただし、加入の手続きや保険料の納め忘れがあると年金が受け取れないこともありますので、「あのときに…」と後悔する前に必ず国民年金の加入手続きを取りましょう！

なお、学生の方や収入が少なく保険料の納付が困難な場合は、「学生納付特例」や「若年者納付猶予」など保険料の支払いを猶予する制度がありますので、加入手続きと併せて申請してください。

【手続き及び問い合わせ】
役場 総務課住民係 ☎65-1111

須崎税務署 からのお知らせ

平成26年4月1日から消費税（地方消費税を含む）の税率が8%に引き上げられます。

消費税は、価格への転嫁を通じて最終的に消費者にご負担いただくことを予定している税です。政府では、転嫁・価格表示・便乗値上げ等に関する政府共通の相談窓口として「消費税価格転嫁等総合相談センター」を設置し、①転嫁に関する問合せ、②広告・宣伝に関する問合せ、③消費税総額表示に関する問合せ、④便乗値上げに関する問合せを受け付けています。

【専用ダイヤル】

057012001123

（受付時間：平日9時～17時）
（平成26年3月・4月は土曜日も受け付けます。）

【ホームページURL】

<http://www.tenkasoudan.go.jp>
（24時間受付）

2月の行事予定

- 2日(日) 梶原消防団・女性消防隊出初式 歩こう会
- 8日(土) 環境整備デイ
- 12日(水) 小動物収集
- 16日(日) 小学校学習発表会
- 17日(月) 所得申告受付開始
- 19日(水) 人権相談・行政相談
- 20日(木) 梶原町交通安全の日

年末年始の 雑踏による事故を防ごう

〜明るく、楽しい年末年始を迎えましょう〜

ご家庭のみなさんへ

○小さなお子さんやご高齢の方とお出かけの際は、余裕のある行動計画を立て、混雑する時間帯や道路などは避けるようにしましょう。特に小さなお子さんからは目を離さず、事故に遭ったり、迷子にさせないように注意しましょう。

○混雑した人混みの中では、後ろから押したり割り込むなど、事故につながるような危険な行為はやめましょう。

○万一、事故が発生した場合は、あわてずに落ち着いて行動し、現場の警察官や係員の指示に従って行動しましょう。

混雑が予想される場所の 責任者や管理者のみなさんへ

○多数の車の利用が予想される場所では、駐車場の増設に努めるとともに観光順路の案内表示などにより、車や人の流れをスムーズにし、交通渋滞や交通事故防止に努めましょう。

○混雑が予想されるときは、事前に警察に連絡して事故防止の対策を立てるとともに、係員・整理員等に対して混雑防止の具体的な指導を徹底するとともに、負傷者や急病人などに備えての具体的な救護措置について準備しておきましょう。

申告と納税はお早めに

平成25年分の確定申告・納期限

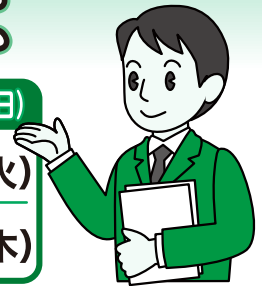
所得税 及び
復興特別所得税・贈与税 **3月17日(月)**

消費税 及び 地方消費税
(個人事業者) **3月31日(月)**

納税は便利な口座振替をご利用下さい(振替日)

所得税 及び
復興特別所得税・贈与税 **4月22日(火)**

消費税 及び 地方消費税
(個人事業者) **4月24日(木)**



【確定申告】公的年金等を受給されている方へ

公的年金等の収入金額が**400万円以下**で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の各種の所得金額が**20万円以下**である場合には、所得税及び復興特別所得税の確定申告は必要ありません。

- この場合であっても、所得税及び復興特別所得税の還付を受けるためには、確定申告書を提出する必要があります。
- 公的年金等に係る雑所得以外の所得があり、その所得金額が必要ない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。詳しくは、お住まいの市町村にお尋ねください。

国税に関する一般的なご相談は、**電話相談センター**をご利用ください。

0番…確定申告に関する相談
1番…その他の相談
2番…納付やお尋ね文書に関する相談

詳しくは**国税庁ホームページ**(www.nta.go.jp)へ

国税庁

検索

アレルギー調査にご協力を!

榊原病院の眼科外来では、今年の春の花粉シーズンに来院された花粉症(アレルギー性結膜炎)の方を対象に、アレルギー点眼薬の調査を実施します。

調査の目的は、ご高齢の患者様に抗アレルギー点眼薬をお使いいただき、くすりの効きめを評価することです。

この調査に参加いただいた場合、検査費・診察費のうち、採血検査は無料で受けていただけます(その他の眼科診察は通常の保険診療となります)。採血検査では花粉だけでなく、イヌ、ネコなどの動物アレルギー、エビ、ピーナッツなどの食物アレルギーがあるかどうかも分かります。

調査への参加は任意ですが、日本の花粉症治療発展のため、そしてご自身の健康づくりのために、ぜひご協力をお願いします。

※調査は花粉飛散開始時期からスタートです。それ以前に来院されても調査に参加いただくことはできません。

※ご質問がありましたら榊原病院眼科外来までお気軽にお問い合わせ下さい。

【お問合せ】 ☎ 65-11151



栲原こども園だより

こども園では2ヵ月に1回の割合で参観日や親子の触れ合い行事を取り入れています。

11月末には乳児組(29名)が、お家の方と一緒にお神楽のリズムを楽しむ、クリスマスの飾り作り、収穫したサツマイモを焼いて食べてみようなど、色々な事に興味を持ちながら、自分で自分のことを少しずつやろうとしている姿を確かめました。

その後、森本ちかさん(高知市の絵本の店コココ・サン)を講師にむかえ、心に響く絵本の紹介や絵本の読み聞かせがどうして大切なのかなど話してもらいました。

「絵本との出会いで自分の世界・知識を広げる」ことはもちろんですが、「大人になっても子どもの頃に読んでもらった本や、その時間を覚えていて心に残っています。楽しく楽しく絵本に出会わせて下さい。そして、幸せな思い出をつくってあげてください。」と話されました。絵本の読み聞かせは「幸せの扉」という言葉に心が温くなりました。テレビを消して、膝の中や布団の中でお父さんお母さんの声で語ってやって下さい。



12月初めには幼児組(59名)が、子ども達と楽しんでいる姿や頑張っている姿を観てもらい、親子で成長を喜びあうという目的で参観日を行いました。歌や踊り、劇を表現遊びとして3・4・5歳がホールで一緒に観てもらいました。

恥ずかしいけど観てもらおうと練習し、覚えて、勇気を出して人前ですることや友達と気持ちを合わせやりとげる達成感と満足感を味わうことは、特別な日として大変さもありますが、子ども達の笑顔や弾んだ声に自信と嬉しさいっぱいの様子でした。子どもはもちろん、家の方も地域の方も成長が確かめられたのではないのでしょうか。

5歳児は「ブレーメンの音楽隊」
4歳児は「OH!みんなで」
3歳児は「てぶくる」の劇をしたよ



〈保護者の感想〉

「子ども達みんなイキイキと楽しそうにやっているのを見てこちらも嬉しい気持ちになりました」

「練習を頑張ってやっていたんだろうなあっていうのが伝わってきました」

「上のクラスになると、あんなこともこんなことも出来るのだと思い、また、子どもにも良い影響です」

栲原学園だより

第27号

非常食体験

11月28日(木)、全校児童生徒で緊急時の非常食体験を行いました。これは、9年生が修学旅行における地震・防災学習の事後体験として、全校分の非常食を調理して、全校児童生徒に提供するものです。その際、実際に共同調理場や栲原町で備蓄している非常食を使用し、より現実に近い訓練としました。

電気、水、食器が使用できないことを想定し、メニューは、α化米ご飯(小学生はえびピラフ・中学生はドライカレー)、レトルト卵焼き、惣菜サラダ、牛乳としました。9年生は、3時間目に給食棟に集合し、調理場からお湯だけをいただき、児童生徒及び教職員全員の非常食を準備しました。準備した非常食は、紙皿、パック、割り箸、ゴミ袋とともに体育館に運び、班長の指示で、たてわり班ごとに集まり給食としていただきました。また、備蓄している非常食用のパンも分けあっていただき

きました。

当初の予定では、避難訓練も予定していましたが、天気の関係で非常食体験のみとなりましたが、防災への意識を高めるよい体験となりました。その中で、9年生は、班長として班員の食物アレルギーへの対応等も含めて「食」が命に大きく関わることを意識しながら、責任をもつて準備や下級生のお世話ができました。栲原学園の最上級生としてとても頼もしく感じられました。

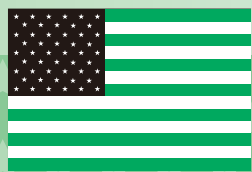


生徒の感想

●ぼくの中では、非常食はおいしくないというイメージでしたが、「しっかり味付けしていろいろな種類があり、今はすごく進んでいるな。」と思いました。ごぼうサラダもおいしかったですし、パンもフワフワで乾パンよりも何倍もおいしかったです。避難したときに温かいものを食べると不安が減ると思うし、おいしいと幸せな気持ちになります。この非常食体験でそんなことを知ることができてよかったです。

●アレルギーなど、食事ひとつで命に関わることを聞いて、しっかりしてないとあぶないと思いました。班員の分を用意するのはけっこう大変でした。でも食べる時、班員みんながありがとうと言ってくれたので、とてもうれしかったです。また、非常食にお湯をいれると、まるでご飯を炊いたように温かくなるのすごいと思いました。





梶原学園ALTだより

ステファニーのコーナー



コーラスサークル

14才の私は、水泳大会の帰り、家族全員で車に乗っていました。家から2時間くらいのところ、私の一番のお気に入りだった歌「Defying Gravity (決断の時)」を歌っていました。これは当時アメリカを一世風靡した「Wicked (ウィキッド：オズの魔女記)」というミュージカルに出てくる歌です。私はちょうど夏のガールスカウトでニューヨークへ行き、観てきたばかりだったのです。その頃の私は、人見知りの内気な子どもで、学校でも誰とも話さず、友達もほとんどいませんでしたが、弟や妹と一緒に歌うことが好きでした。歌がフィナーレへと盛り上がっている時に父が振り向いて言いました。「ステファニー、無理に歌わなくていいよ。ひどい声だね。」…これが私が人前で歌を歌う最後となったのでした。

私が日本に来た時、前任者のカビータは梶原町のコーラスサークルのメンバーでした。そして彼女に入らないかと勧められましたが、私はとても緊張していました。本当に歌が下手で人前で歌うことにとても不安を感じていましたが、とりあえずどんな様子かを観に行きました。梶原に来たばかりの頃は、日本語をすらすら読むことに四苦八苦していたので、初日から数週間は、興味深いこのグループの一員になるため、一生懸命になりました。この時から、私は楽譜を読んだり、理解したり、コミュニケーションを取ることが上達したと思います。

コーラスサークルは、日本の家族のような存在になり、毎週メンバーの皆さんに会えるのを楽しみにしています。日本に来てからというもの、特にカルチャーショックで苦しんでいた去年の冬以来、私にとって心の安らぎを求めるひとつの場所となっています。コーラスサークルは昨年の冬からずっといろいろな影響を与えてくれていることに、この場をお借りしてお礼を述べたいと思います。コーラスサークルは、単なる楽しい存在であるだけでなく、再び私に歌う勇気をあたえてくれたり、新しいことに挑戦したり、すでに私が取り組んでいることにも影響したりしています。コーラスサークルの一員になれたチャンスを大切に、メンバーの皆さんのご親切とサポートに心より感謝申し上げます。



文芸

えぼし俳句会

柚子湯して頭ほぐれてくる心地
 枇杷の花ひそかな夢もありにけり
 亡き父の想い出遠く枇杷の花
 初雪やころがる如き老いの坂
 里山に大橋懸けて冬の虹
 ふる里は知る人もなく枇杷の花
 枯蓮のかすかな揺れや鯉の影
 八字の眉我が父系なり枇杷の花
 ひっそりと観音堂の枇杷の花
 地味なれど実ある余生枇杷の花
 初雪が降りましたよと友の文
 逆縁の喪中のはがき夕しぐれ
 木の葉降る腰の恙に容赦なく

千光寺昭子
 岩元 芙美
 古野 節子
 下村 弘花
 下元 澄子
 ヒネ・バンビ
 宇都宮由利子
 宮崎真由子
 前田 茂子
 中越 律子
 瀬戸口登貴恵
 西村 智子
 岩井 章子

杉の子俳句会

電線が夜通し笛を吹く師走
 赤帽子お地藏さんの冬支度
 木枯しの吹く山里で炭をやく
 強霜や見違う程の白い屋根
 前向きと決めて一步の初景色
 木枯しや駄屋の子牛のあたたかし
 初社芭蕉の句碑も拝みけり
 湯豆腐の揺れる火加減ガスコンロ
 柚子採りはあ痛あ痛と言うて挽ぐ
 物足りず顧りみる日々十二月
 餅をつき臼挽豆腐母は亡き
 柚道を木枯供に掛け下りぬ
 暖取ると重ね重ねて円柱に
 お正月雪が降るかと問う手紙

西村 幸枝
 氏原 陽子
 久光 義恵
 吉村 招山
 久岡 智子
 西村 蓉子
 徳永 逸夫
 小崎みなと
 下元 廣幸
 野中案山子
 山口 立野
 影浦 鉄心

柚子の木俳句会

大根の白い脚線姿干し
 押し売りに注意の電話年の暮
 もの言えぬ国となりはて年暮るる
 永らえて募金のできる幸思う
 欄干しに初雪帽子寒からう
 年越しの街路サンタが露払い
 並木道夕日のカーテンこがね色
 忘年会忘れるために寄っている
 土佐弁の「花じんま」開き年歩む
 冬の田の機影も横を走りおり

鎌倉 安弘
 広瀬 宗子
 広瀬 みえ
 佐竹 重子
 西森 誠子
 中平 忠雄
 中越 緑
 中越 郁子
 渡辺 瑞枝
 西村由利子



託老所「陽だまり」

一人居な灯油買い足す山の風

暖取ると重ね重ねて円柱に

お正月雪が降るかと問う手紙

2月の保健福祉支援センター行事予定

- 3日(月) げらげら家族会(認知症を介護する家族の会:総合福祉センター)
- 6日(木) 松原サテライトデイ
- 13日(木) 越知面デイ友の会
- 14日(金) 愛育相談・四万川託老所
- 18日(火) 初瀬いきいきふれあい広場(高齢者合宿施設はつせ)
- 19日(水) 人権相談
- 21日(金) 東区いきいきふれあい広場
- 27日(木) 西区いきいきふれあい広場(西の川高齢者合宿施設)
- 28日(金) 四万川いきいきふれあい広場

※毎週水曜日…●予防接種日：不活化ポリオ、三種混合、四種混合、麻疹・風疹、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ・小児肺炎球菌ワクチン

●陽だまり、育児サークル

※ゆすっ子相談センター相談日…3日(月)、18日(火)、25日(火)

夢・未来館

図書室だより

図書室 開室時間

午前8:30～午後8:00まで

今月の入荷図書

○一般書（一部紹介）



何のためにうまれてきたの？

やなせ たかし
 漫画家になりたいと上京しながら芽が出ず、様々な職業で生活をつなぎ、くじけそうになるたび、「何のために生まれてきたのか」と初心に戻り、アンパンマンがヒットしたのは69歳。
 同じ生きるなら自分もまわりも楽しくしたいと、いつも前向きを心がけてきた軌跡には、人生を生き抜くヒントが満載！

- 人間にとって成熟とは何か
- 幸福な田舎のつくりかた
- お遍路小娘
- 人生はニャンとかなる！
- 人生はワンチャンス！
- 犬が教えてくれたこと

- 曾野 綾子
- 金丸 弘美
- いとう あゆみ
- 水野 敬也
- 水野 敬也
- 三浦 健太

○絵本・児童書（一部紹介）



おせちいっかのおしょうがつ

わたなべ あや
 きょうは、おおみそかー。
 はこださんちは、お正月のじゅんぴでおおいそがし。そして、じゅうばこのなかのおせち一家もおおいそがし！ふたごのかまぼこ、こうちゃん、はくちゃん、だてまきママに、くわいババ、えびばあちゃんに、たたきごぼうじいちゃん…。
 たくさんのおせちたちといっしょに、たのしいお正月をむかえましょう。

- おしょうがつ どんどこどん 長野 ヒデ子
- ふしぎなたいこ 新田 新一郎
- よかたい先生 三枝 三七子
- 海賊 田島 征三
- ぼくだってウルトラマン よしなが こうたく
- ぼく、仮面ライダーになる！ウィザード編 のぶみ

県立移動図書バス

本を選びにきませんか？

【とき】1月15日(水) 13時～14時 【ところ】地域活力センター前

絵本の読み聞かせボランティアグループ「絵本の小部屋」の紹介

「絵本の小部屋」は絵本の好きな5名が集まり平成14年にスタート！現在は30～70歳代の9名で活動しています。時に楽器演奏や手品、人形劇などメンバーの得意なことを活かしながら絵本の楽しさを知るきっかけづくりを行っています。



【主な活動場所】

- 幼稚園……毎週火曜日 9:00～(15分間)
- 保育園……毎週水曜日 8:45～(15分間)
- 小学校……毎週木曜日 8:15～(15分間)
- みどりの家…第一木曜日 10:00～(1時間)



絵本の小部屋では一緒に活動してくれる仲間を募集中！
 月1回、情報交換やミーティングを開いているので経験がない方でも大丈夫！いつでも見学OK！お気軽にご連絡ください。
 教育委員会 阿部 (65-1350)

編集後記

新年あけましておめでとうございませす

旧年中は「広報ゆすはら」へ多くの皆様のご協力を賜りましてありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、津野経高公によってこの梶原の地が拓かれて以来、千百年の時を迎えたことを記念し、様々な行事が開催されました。その中で、多くの皆さんにこの町を訪れていただき、改めて梶原の魅力を実感した素晴らしい一年でした。

ある全国紙の記者によると、この町の魅力は、「町民の皆さんのおもてなしの心」目には見えないその心が風土として町中に満ちている」とのことです。気の遠くなるような長い歴史の中で多くの先人によって育まれてきた、この風土を大切にしながら、新たな百年に向かつてのこの一年を刻んでいきたいと思ひます。

皆様にとってこの本年が平和で穏やかな一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

広報編集委員会

